

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮西小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着 (2) 根拠を明確にしなが、自分の考えをもちたり伝えたりすることができる資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1) 国語においては、漢字の熟語や使い方など、意味も含めての理解を目指す。言葉集めや意味調べをしたり、作文を書く際に漢字を用いたり、語句の関係を意識したりするなど、「漢字や言葉を使う活動」を設定する。算数においては、「まなぶくんタイム」などで当該学年の内容だけでなく、既習内容も復習する機会を設ける。【業初】の時間や該当する単元の中で1回以上】(2) 文章や資料や表、グラフなど様々な情報を結び付け、必要な内容を読み取り、自分の考えが伝わるように表現を工夫したりする活動の設定。例えば、算数では、見直しをもってから問題を解いたり、立式する根拠を明確にもつなど情報を整理してから問題解決に取り組ませるなど。【各単元の中で1回以上】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

児童生徒の
学力の向上

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月)	学力向上策の実施
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果分析(7月)	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月) <小1~中3>(11~12)	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
学力向上策の 見直し	中間評価(9月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所